

まちづくり講演会＋街並み見学会 in 武生 2011

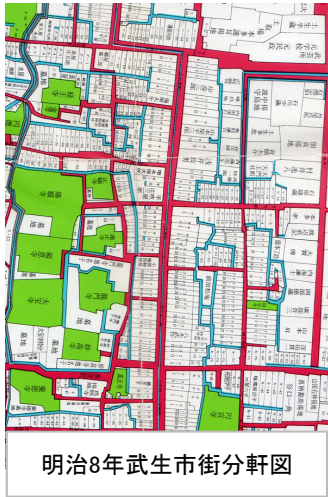
対 象 エ リ ア	越前市タンス町界隈
日 時	平成23年11月3日（木・祝） 12:30～16:30
開 催 場 所	越前市生涯学習センター
対象者（人数）	越前市内外の住民 参加者120名
主 催	社団法人 福井県建築士会
共 催	福井県 越前市 財団法人 福井県建設技術公社
後 援	四町まちづくり協議会
協 力	社団法人 福井県建築士会南越支部 武生工業高等学校 武生立葵会
講 師	山形県金山町 須賀 稔 氏
ね ら い	都市景観大賞を受賞するなど、美しいまちづくりの先進地である山形県金山町から講師を招き、100年先を見据えた美しいまちの創り方について話してもらい、今後のまちづくりの参考にしてもらう。 また、江戸時代の地図を片手に武生の町を歩き、身近な地域資産の魅力を知るきっかけをつくる。
プ ロ グ ラ ム	1. 街並み見学会「古地図散歩」 300年前の地図を片手に散歩し、江戸時代から残る路地や町家などの地域資産の魅力を知る。 2. 「地域の暮らし」発表 武生工業高校生が考えた「四町地区の住まい」を発表する。 3. まちづくり講演会 演題：「100年先も輝いて！」 ～金山流美しい町の創り方～ 4. その他 「伝統的民家のある風景」写真コンクール入賞作品、「景観百選」写真を同会場で展示
準 備 物	・パソコン ・プロジェクター ・まちなか博物館マップ（参加者に配布） ・まちなか散策ルート資料（参加者に配布）



街並み見学会を前に、まずは武生の歴史概要について説明をした。



昭和23年の武生(航空写真)

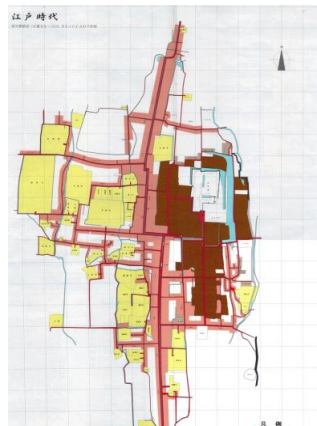


明治8年武生市街分軒図

武生のまちなかは左のとおり、幕末の地図と戦後の航空写真がほぼ一致する。そのため、昔の地図を持ってまち歩きができる、稀有なまちである。



正徳元年府中図



学生がコンピュータで作成

現存する最古の地図「正徳元年府中図」(写真左)を基に武生工業高校の学生が作成した地図(写真右)を参加者達は持ち、武生のまちなかを散策した。



古地図散歩の様子。

写真の建物は武生公会堂記念館で、同建物は昭和天皇即位の御大展記念行事として昭和4年に完成した。当時の新しい幾何学模様デザインで建てられ、建設費は全て武生町民の寄付で賄われている。

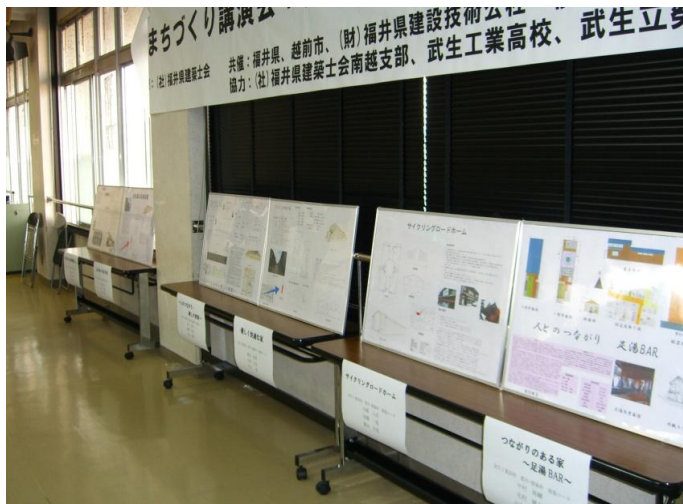
平成17年、国の登録有形文化財に登録



地元住民にとって見慣れた風景も、歴史概要を聞き、古地図を片手にまち歩きをすることで、改めて地域資産の良さを発見した。



武生工業高校建築コースの学生が、四町地区での住まいを提案した。いずれの案も町家の良さを生かした建築様式で、街並みとも調和を図った内容であった。



「町の中の小料理屋さん」
「ふれあいのある家」「人とのつながり足湯BAR」など計6案が披露された。



講演会を前に、福井県建築士会長と福井県土木部建築住宅課長が、開催の意義を交えてあいさつした。



講演会では、都市景観大賞を受賞するなど、美しいまちづくりの先進地である山形県金山町の取り組み事例などを紹介してもらった。今後のまちづくりの参考とするべく、参加者は興味深く聴き入っていた。